

理工学研究所・研究開発機構研究発表会

Annual Joint Meeting of ISE and RDI of CHUO UNIVERSITY

日 時 2020年11月27日 (金)

◇15:10 開会挨拶

理工学研究所委員長 檜山 和男

研究開発機構長 石井 洋一

◇15:30~17:30 ポスターセッション

15:30~16:00 発表時間A

16:00~16:30 発表時間B

16:30~17:00 発表時間C

17:00~17:30 発表時間D

◇17:30 閉会挨拶 理工学研究所長 鎌倉 稔成

共 催 中央大学理工学研究所・中央大学研究開発機構

場 所 Google サイトおよびWebex によるオンライン開催

発表方法 ポスターセッション (PDF 掲出および発表者ごと 30 分の割り当て時間内にて)

参 加 中央大学全学メールをお持ちでない場合 (学外の方) のみ事前申し込み制

問合せ先 中央大学研究支援室 TEL(03)3817-1602・1678 / FAX(03)3817-1677

■理工学研究所

| | 種別 | 研究代表者 | 所属 | 研究テーマ | Webex 番号 | 発表時間 |
|-----|----------|-------|----|---|----------|------|
| R1 | 共同研究第1類 | 福澤 信一 | 応化 | クロスカップリング反応による機能化インジゴの合成と性質 | 8 | B |
| R2 | 共同研究第1類 | 加藤 俊一 | 経工 | 感性と行動文脈の多様性の下での QOL 向上のための感性情報基盤技術の開発 | 11 | A |
| R3 | 共同研究第1類 | 福井 彰雅 | 生命 | 両生類原腸胚のシングルセルトランスクリプトーム・3D マッピング | 11 | B |
| R4 | 共同研究第1類 | 箕浦 高子 | 生命 | チューブリン遺伝子破壊株による微小管機能の順遺伝学・逆遺伝学的研究 | 11 | C |
| R5 | 共同研究第1類 | 幡野 博之 | 人間 | 粉粒体利用健康維持装置の研究 | 12 | A |
| R6 | 共同研究第2類 | 戸井 武司 | 精密 | 音源定位等の聴覚能力に及ぼす加齢の影響に関する研究 | 5 | B |
| R7 | 共同研究第2類 | 中村 太郎 | 精密 | 蠕動運動ポンプの効率的な制御手法に関する基礎的研究 | 5 | C |
| R8 | 共同研究第2類 | 松本 浩二 | 精密 | オゾンマイクロバブル含有氷連続製造システムの実用化研究 | 5 | D |
| R9 | 共同研究第2類 | 國井 康晴 | 電気 | 小型軽量移動システムのための跳躍型環境計測およびリスク許容 | 6 | C |
| R10 | 共同研究第2類 | 橋本 秀紀 | 電気 | Intelligent Servo Actuators に関する研究 | 6 | D |
| R11 | 共同研究第2類 | 小松 晃之 | 応化 | ハイブリッド型人工酸素運搬体の開発と安全性・有効性評価 | 8 | C |
| R12 | 共同研究第2類 | 古田 直紀 | 応化 | 大気粉塵 (PM0.1) のリアルタイムモニタリングによる発生源の解明 | 8 | D |
| R13 | プロジェクト研究 | 山田 正 | 都市 | ベトナム国における気候変動による河川及び沿岸域を含む河川・水環境の改善に関する研究 | 4 | B |

■研究開発機構

| | 研究代表者 | 研究テーマ | ユニット代表者 | Webex 番号 | 発表時間 |
|-----|-------|---|---------|----------|------|
| K1 | 辻井 重男 | 暗号学者の視た理念と現実（天国からの恩師のご下問に答えて）―「楕円曲線暗号から情報セキュリティ総合科学まで」 | 福原 紀彦 | 1 2 | B |
| K2 | 石川 幹子 | 首都圏東京におけるグリーンインフラ形成に向けた基礎的研究 | 山田 正 | 1 2 | C |
| K3 | 笠井 由紀 | 単細胞性緑藻 <i>Coccomyxa</i> sp. KJ 株におけるエレクトロポレーション法の最適化とランダム挿入変異株の解析 | 小池 裕幸 | 1 4 | A |
| K4 | 久徳 康史 | 日常的 P T E に対する予防心理学アプローチの普及：これまでの成果とこれからの展望 | 檀 一平太 | 1 4 | B |
| K5 | 重宗 弥生 | ギャンブル依存における報酬/罰関連刺激に対する鋭敏さの検討 | 緑川 晶 | 1 4 | C |
| K6 | 石川 仁憲 | AI と IoT を活用した救助救命システムに関する研究開発 | 小峯 力 | 1 5 | A |
| K7 | 後藤 岳久 | 掃流砂と浮遊砂の相互作用を考慮した洪水流・河床変動解析法と阿賀野川河口砂州への適用 | 福岡 捷二 | 1 3 | A |
| K8 | 竹村 吉晴 | 間欠的な崩落機構を考慮した河岸・堤防侵食の解析手法に関する研究 | 福岡 捷二 | 1 3 | B |
| K9 | 田端 幸輔 | 堤防破壊危険確率と堤防脆弱性指標に基づいた堤防浸透破壊の危険性評価 | 福岡 捷二 | 1 3 | C |
| K10 | 後藤 勝洋 | 多摩川中流域における令和元年 10 月洪水の実態把握，河道の安定化 | 福岡 捷二 | 1 3 | D |
| K11 | 西濱 里英 | 下肢力覚提示装置開発のための落下感覚に与える影響 | 中村 太郎 | 1 5 | B |
| K12 | 木下 慶紀 | 罰則付加による変数選択の時系列モデルへの応用 | 鎌倉 稔成 | 1 5 | C |

2019 年度に理工学研究所で行われた共同研究・プロジェクト研究および研究開発機構の研究発表です。RA 研究発表会も同時開催いたします。お気軽にご参加下さい。